14別詩（范雲）

応用編 右の基本をふまえて、漢詩を読んでみましょう。

　　別　詩

Ａ

Ｂ　　㆓ レ 　㆒

Ｃ　昔　　雪　レ

Ｄ　今　　花　レ

問１　次の〔　　〕を埋めて、書き下し文を完成させよ。

Ａ　洛陽城の東西

Ｂ　長く〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

Ｃ　昔去るとき雪花のごとく

Ｄ　今来たれば〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

問２　上の詩で対句となっているのは、どの句とどの句か。記号で答えよ。

（　　　）（　　　）

問３　別れた季節はいつか。また、再会した季節はいつか。それぞれ漢字一字で答えよ。

▽別れた季節　＝〔　　　〕

▽再会した季節＝〔　　　〕

問４　上の詩の形式を次から選び、記号を○で囲め。

ア　五言絶句

イ　五言律詩

ウ　七言絶句

エ　七言律詩

【解答】

問１　Ｂ＝〔長く〕時を経るの別れを作す

　　　Ｄ＝〔今来たれば〕花雪に似たり

問２　Ｃ・Ｄ

問３　▽別れた季節＝冬　▽再会した季節＝春

問４　ア

現代語訳

　洛陽の町で東西に／別れて以来、長く時が経った／昔別れたときは、雪が花のように降っていたが／今は帰って来ると、花が雪のように散っている。

ポイント

問３　季節はめぐり、去った「昔」は、花のように雪が降っていたが、再会した「今」は、雪が降るように花が散り続けていることだ。

問４　一句に漢字が五つならぶものが五言。七つならぶものが七言。また、四句から成る詩が「絶句」。八句から成る詩が「律詩」である。